

令和6年度 事務事業マネジメントシート

事務事業No.	1-	6	
会計	款	項	目
一般	2	1	6

政 策 4 持続可能な町の経営ができるために

課名 総務課

施 策 4-1 効率的行財政の運営

係名 管財係

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	事業者、職員	目的 (対象がどのような状態になっているか)	応札者は、インターネットを介して参加申請や入札が行えるため、発注機関へ行くことが不要となり、移動時間や待ち時間、移動経費が減少する。職員においては、各種書類が電子化されることにより、入力の手間やミスがなくなり、書類作成業務の効率化、入札事務の迅速化が図られる。
事業内容	公共工事等に係る入札、契約業務を実施する。			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位	目標方向	令和7年度 (目標)
	1						
	2						
	3						
	4						
	5						

		令和5年度 (決算)	令和6年度 (決算)	令和7年度 (予算)
全体事業費 (千円)		5,329	5,941	8,794
財源 内訳	うち一般財源	5,329	5,941	8,794

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性は高まると考えられる	有効性	目標達成度	B達成できなかった
		町閥与の必要性	B町が担うとともに、町民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A対象者は適切である
総合評価	I 拡 充 (事業内容を現在の規模を超えて拡充すべき)					コスツの削減 A削減の余地はない

(2) 事務事業の業務改善について

①R6年度の改善計画	令和6年度中に電子契約の本格運用を実施し、令和7年度完全電子化を実施できるよう取り組む。	③取組の課題	令和7年度は、本格導入に向け、スムーズに電子契約へ移行できるよう、事業者の説明等が必要である。
②R6年度に実施した取り組み	電子入札の本格運用を開始し、電子契約の導入を行った。	④今後の改善計画	入札方法の見直しの検討(1抜け方式の導入など)や、令和7年度中に電子契約の本格運用を実施し、電子契約が普及するように取り組む。